

新美南吉記念館だより

NIIMI NANKICHI MEMORIAL MUSEUM NEWS

発行 新美南吉記念館 〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 TEL0569(26)4888 <http://www.nankichi.gr.jp>



開館時間 午前9時30分 ~ 午後17時30分

休館日 毎週月曜日、毎月第2火曜日(祝日・振替休日の時は開館し、その次の開館日が休館になります)、年末年始

[トップ](#) | [展示](#) | [イベント](#) | [総合案内](#) | [新美南吉](#) | [文学散歩](#) | [お問合せ](#)



ごんの秋まつり
(新美南吉顕彰会HPへ)

新美南吉童話賞

刊行物

来館者の声

オススメ情報一覧

イベント情報

- ▶ 半田高等学校100周年記念企画展「南吉の中学生日記」
11月3日(土・祝)～2019年2月17日(日)
- ▶ 「手ぶくろを買いに」の日 12月22日(土)～2018年1月6日(日)
- ▶ 風作り＆風あび体験 2019年1月5日(土) 参加申込み受付中



＊開館二十五周年に向けて＊



新

美南吉記念館は、
今年の六月に開館
二十五周年を迎え

ます。昨年、空調機器の全
面更新と照明のLED化工
事(写真①・②)を行い、

十一月十二日(月)から
十二月三十一日(金)にか
けて、記念館は臨時休館さ
せていただきました。

休館中は皆様にご迷惑を
おかけしましたが、この施
設改修によって、環境や資
料の保護に配慮しつつ、今
までよりも快適に館内を見
ただけるようになりました。

した。開催中の企画展「南
吉の中学生日記」(詳細は
三頁)と合わせて、ぜひ一
度足をお運びください。

新しくなったのは施設だ
けではありません。情報社
会の今、ホームページなど
が担う役割は年々大きく
なっています。そんな中、
新美南吉記念館のホーム
ページは、かねてより「見
づらい」といった声や、「ス
마트フォンに対応してほ
しい」という声があがって

いました。そこで改修工事
に合わせて、ホームページ
の全体リニューアルも行い
ました(写真③)。

デザインの刷新・機能の
拡充とともに、古くなって
いたページ内容の更新をし
ています。記念館へ来館を
お考えの方はもちろん、南
吉について知りたいという
方にも役立つページとなっ
ていますので、どうぞご活
用ください。

これで館内設備とホーム
ページの改修が終わりまし
た。二〇一九年は、記念館
敷地内にある童話の森の整
備を進めていきます。童話
の森は、南吉の代表作「ご
んぎつね」の舞台となつた
場所で、遊歩道が整備され
ていましたが、経年劣化で
歩きづらい場所が増えてい
ました。そのため、これを
機に補修をしていきます。

一つの節目を迎える本年
も、ますます南吉と南吉文
学の普及に力を入れて参り
ますので、どうぞよろしく
お願いいたします。

第30回 新美南吉童話賞入賞者発表

最優秀賞（文部科学大臣賞）

「交換日記」／小林貴弘さん

こばやしたかひろ

（東京都東久留米市）



○審査員選評

着想の面白さと新しさが際立つ作品でした。一日ずつ日記を逆のぼり、過去のでき事に各々コメントを書き込んで交換するというアイデアは秀逸です。工夫しただいでは、もともと面白く、もつともつとハートフルな物語になりました。作品の可能性が認められ、今回の最優秀賞となりました。（富安陽子）

新美南吉オマージュ部門

大賞（半田市教育委員会賞）

「風花」／高木美月さん

たかぎ みつき

（愛知県半田市）



○審査員選評

今回の作品は以前の受賞作とは異なり主人公の日常を描いたりアリズム作品ですが、物語の構成も巧みで情景描写も美しく、読み終えて、タイトルの意味がストンと胸に落ちるのはさすがでした。年々成長する作者と広がっていく物語の世界を、これからも楽しみにしています。（富安陽子）

第30回新美南吉童話賞には一九四七編の応募があり、その中から二十編の作品が入賞しました。

最優秀賞に輝いた小林貴弘さん作「交換日記」は、七歳の時から交換日記を続けてきた、二人のおばあさんのお話です。ついに書くこともなくなった二人は、ふとした思い付きで一日ずつ交換日記を読み返していくことにします。すると、日付を遡って行くうちに二人の体はだんだん軽くなっていき……。アイディアの面白さと、心温まるやり取りが、とても印象に残る作品でした。

昨年に引き続き、今年も新美南吉オマージュ部門大賞に入選した、高木美月さん作「風花」は、南吉の「のら犬」をオマージュした作品です。小学一年生のはなちゃん、学区の境に家があるの、お兄ちゃん以外に学校へ一緒に行くお友達がいまませんでした。ある日、学校についてきたクロネコの後を追いかけると、晴れているのにひらひらと雪が降ってきて……。巧みな風景描写で浮かび上がる冬の

一日が、タイトル、ストーリーと相まって、綺麗にまとまっている作品でした。

どちらも当館ホームページで公開していますので、ぜひご覧下さい。そのほかの入賞者は次の通りです。

*

自由創作部門

【一般の部】

▽優秀賞

〈愛知県教育委員会賞〉

「もんきちよう」

モリバラカ（東京都調布市）

〈半田市市長賞〉

「歩く影」

池部恵里奈（大阪府大阪市）

▽特別賞

〈ミツカン賞〉

「かかしと流れ星」

ごとうあやこ

（長野県長野市）

〈知多信用金庫賞〉

「さめない湯たんぽ」

山田やよい（東京都町田市）

〈中部電力株式会社賞〉

「おなかのブタ」

桐谷あきひこ

（長野県北佐久郡御代田町）

▽佳作

「コケットの、大きくなったら何になる？」

のむらきみこ

（岐阜県各務原市）

【中学生の部】

▽優秀賞

〈公益社団法人

半田青年会議所賞〉

「博士とぼくの夢」

毛利幸（愛知県半田市）

▽特別賞

〈半田信用金庫賞〉

「奇跡の金魚」

竹下真央（愛知県知多市）

▽佳作

「ハリさんの針」

加藤千晴

（愛知県知多郡美浜町）

「奇跡」

横井稜（愛知県半田市）

【小学生高学年の部】

▽優秀賞

〈審査員奨励賞〉

「虫ずもう」

荒川惟孝（愛知県半田市）

▽佳作

「出会いと別れ、そして出

会い」

遠藤良介

（岐阜県本巣郡北方町）

「雨の日の音楽会」

高木美月（愛知県半田市）

【小学生低学年の部】

▽優秀賞

〈中日新聞社賞〉

「ふしぎなキノコさいばい」

中村心美（愛知県安城市）

▽佳作

「へびのレミ」

神子田桜良

（東京都世田谷区）

「ザニガニくんの太ぼっけん」

近藤悠慎（愛知県半田市）

*

新美南吉オマージュ部門

▽優秀賞

〈半田市議会議長賞〉

「さがしもの」

佐野由美子（三重県鈴鹿市）

▽特別賞

〈新美南吉顕彰会賞〉

「巣離れ」

中山忍（滋賀県大津市）

*

今回は、南吉のふるさと

半田市内の小中学生が活躍

する年になりました。新美

南吉オマージュ部門の大賞

を二年連続で受賞した、小

学四年生の高木さんを始

め、自由創作部門・小中学

生の部でも、五つの賞に市

内の子どもたちが入賞して

います。そのほか、市内に

限らず小中学生からの応募

自体も、前回に比べ大きく

伸びました。この熱気が、

次回以降にも続いていくよ

うに願っています。

入選した皆様、おめでと

うございます。授賞式は二

月二十三日（土）開催です。

半田高校創立百周年記念企画展

南吉の中学生日記



平成三十年、愛知県立半田高等学校は、愛知県立第七中学校の創立から数えて百周年を迎えました。明治から大正期に愛知県下に八校設立された伝統あるナンバースクールの一つであった第七中学校は、大正十一年、半田中学校に改称。同十五年、新美南吉はこの旧制中学に入学しました。こ

頃の校舎のうち、唯一、武道場（現七中記念館）が現存しており、創立百周年を記念して建物の耐震補修工事が行われました。南吉はこの半田中学校で五年間を過ごしました。南吉の中学時代については、主な資料として『昭和四年自由日記』が挙げられます。中学三年生だった昭和四年

の頃の校舎のうち、唯一、武道場（現七中記念館）が現存しており、創立百周年を記念して建物の耐震補修工事が行われました。南吉はこの半田中学校で五年間を過ごしました。南吉の中学時代については、主な資料として『昭和四年自由日記』が挙げられます。中学三年生だった昭和四年

の頃の校舎のうち、唯一、武道場（現七中記念館）が現存しており、創立百周年を記念して建物の耐震補修工事が行われました。南吉はこの半田中学校で五年間を過ごしました。南吉の中学時代については、主な資料として『昭和四年自由日記』が挙げられます。中学三年生だった昭和四年

展示構成

- ① 半田高等学校（半田中学校に入学・武道場）
- ② 学校生活（片想い・弁論大会・創作活動）
- ③ 進路と卒業
- ④ 校会の著名人

半田高等学校 100 周年記念企画展

南吉の中学生日記

2018年11月3日（土）
～2019年2月17日（日）

新美南吉は、旧制半田中学校（現在の南吉記念館）で中学2年生から、半田高等学校（現在の南吉記念館）で高校1年生まで学びました。この日記は、南吉が半田中学校時代に書いたもので、南吉の中学生生活を知る貴重な資料です。

【開催】9:30～17:30
【休館日】毎週月曜・第2火曜・年末年始（1月、第2火曜が祝日は閉館）
【観覧料】大人200円、中学生以下100円
【交通】名鉄河和駅南口下車徒歩5分、名鉄河和駅西口下車徒歩5分、名鉄河和駅南口下車徒歩5分、名鉄河和駅西口下車徒歩5分、名鉄河和駅南口下車徒歩5分、名鉄河和駅西口下車徒歩5分

TEL: 0569-26-4388
〒475-0956 半田市中区南吉 1-10-1

一月から中学四年生の十二月末までほぼ毎日書きこまれた日記です。この日記には、恋や進路の悩みなど当時の南吉の赤裸々な想いや、中学の友人たちと、ときには成績を競い合い、ときには執筆した文学作品を見せ合いながら過ごした学生生活が記されています。中学二年生から創作を始め、卒業した年に代表作「ごんぎつね」を書いた南吉。早熟な文学少年の中学生生活とはどのようなものでしょう。本展では、日記を中心資料として中学時代の南吉を振り返りたいと思います。

*

企画展の会期は、二月十七日（日）まで。半田高等学校が所蔵する旧制中学校時代の資料や、東浦町中央図書館が所蔵する久米常民宛て書簡（南吉直筆）なども展示しています。ぜひ、ご覧ください。ミュージアムトークも開催いたします（詳細は四頁へ）。

記念館からのお知らせ

ミュージアムトーク

学芸員が開催中の企画展

「南吉の中学生日記」を解説。

日時 1月13日(日)、25

日(金)、2月2日(土)、

16日(土)

／13時30分～14時

榊原澄香ペーパーアート展

南吉童話を題材にペーパーアート作品を制作されている、榊原澄香さんの作品展です。

会期 2月23日(土)～

4月21日(日)

場所 記念館常設展示室

※どちらも観覧料(高校生以上210円)が必要です

【関連行事】

ペーパーアート教室

榊原澄香さんを講師に、南吉の童話「げたにばける」を半立体のペーパーアートにして作ります。

日時 3月2日(土)

13時30分～15時30分

場所 記念館工作室

対象 小学4年生以上(大人のみの参加も可)

定員 15名(申込み順)

持ち物 はさみ、ピンセツ

ト、木工用ボンド、鉛筆、

カッター

参加費 500円

申込み 1月26日(土)9

時30分から電話又は窓口へ



▲B5サイズ

平成30年度文学講座

第1回 2月17日(日)

南吉の中学生日記を読む

南吉の中学生時代の日記には、学生生活の様子や文学への思いがあふれています。企画展の内容をより掘り下げて、日記の特徴や楽しみ方をご紹介します。

時間 13時30分～15時

場所 記念館会議室

講師 記念館学芸員

受講料 無料

申込み 1月27日(日)9時30分から電話又は窓口へ

第2回 3月3日(日)

南吉童話の闇と光

「南吉が描こうとしたもの」

南吉童話には、孤独とエゴという人間についての二つの真実を知る体験が描かれています。そこにある闇と、誰でも美しく生きられる光について考えます。

時間 13時30分～15時

場所 記念館会議室

講師 記念館学芸員

受講料 無料

申込み 2月9日(土)9

時30分から電話又は窓口へ

第3回 3月17日(日)

南吉文学散歩

「大野・小鈴谷・河和」

「おじいさんのランプ」の舞台になった大野。弟益吉が勤めた醸造会社がある小鈴谷。代用教員として「かりそめの仕合わせ」を味わった河和。知多半島の南吉ゆかりの地をバスで訪ねる文学散歩です。

時間 9時30分～16時

場所 記念館学芸員

定員 33名

行程 海音寺↓恩波楼↓大野の古い町並み↓盛田味の

館(昼食・味噌蔵見学)↓河和港↓南吉が通勤で登った坂道↓河和小学校

ガイド 記念館学芸員

参加費 900円(昼食代)

申込み 2月9日(土)9

時30分から電話又は窓口へ
※集合・解散場所は半田市役所職員駐車場です。

日誌抄・

十月(神無月)

▼1日 半田市地区路線バス「ごんくる」が運行開始

▼同日 板山小学校で出前授業。54名参加▼2日 有

脇小学校で出前授業。25名

参加▼3日 乙川小学校で

出前授業。83名参加▼4日

「ごんの誕生日」。84名参加

▼同日 ミュージアムトーク。22名参加▼同日 「ご

んの秋まつり」終了。期

間中来場者数114000人(入館者数10022

人)▼同日 岩滑小学校で

出前授業。72名参加▼5日

乙川東小学校で出前授業。

83名参加▼7日 「赤い鳥

朗読会」。52名参加▼14日

第30回新美南吉童話賞一次

審査会▼16日 花園小学校

で出前授業。132名参加

▼17日 雁宿小学校で出前

授業。66名参加▼18日 半

田小学校で出前授業。69名

参加▼21日 ミュージアム

トーク。6名参加▼27日

NHKラジオ第一「マイあ

さラジオ」が当館学芸員へのインタビュを放送▼28日 特別展「『赤い鳥』がくれたもの」新美南吉・夢と出会い」終了。会期中来館者数25913人▼同日 第159回新美南吉読書会。20名参加

十一月(霜月)

▼1日 第30回新美南吉童話賞最終審査会▼3日 企画展「南吉の中学生日記」始まる(2月17日)▼同日 J.C.竹灯篋展示会。於記念館会議室▼12日 空調機器全面更新及び照明改修工事に伴う臨時休館(12月21日)▼14日 宮池小学校で出前授業。120名参加▼17日 田んぼアート稲刈り▼25日 第160回新美南吉読書会。17名参加。於岩滑コミュニティセンター▼同日 語人サヤ佳「語りの会」で、当館学芸員が「赤い鳥」と南吉について解説。於豊田産業文化センター



貝殻忌講演会

(第 32 回新美南吉顕彰講演会)



「人生に大切なことはすべて絵本から教わった」

3 月 21 日 (木・祝) / 10:00 ~ 12:00

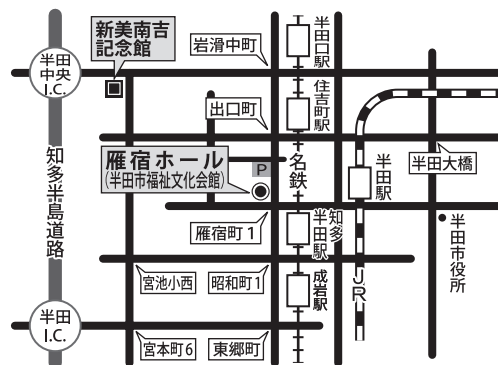
今年の講演会は、絵本編集者として活躍し、皇后美智子様とも親交の深い、末盛千枝子さんを講師にお招きします。皇后様から童話「でんでんむしのかなしみ」について聞いた話、異聖歌との出会い、大切にしている石井桃子さんの言葉など、編集者として、母として平坦ではない人生を歩んでこられた末盛さんが、生きていくうえで児童文学から学ばれたことについてお話しくださいます。

講師 **末盛 千枝子** 氏

【講師プロフィール】 1941 年、岩手県出身の彫刻家・舟越保武の長女として東京に生まれる。慶應義塾大学卒。絵本出版の世界で編集者として活躍し、数々の賞を授与される。'88 年に「すえもりブックス」を設立。まど・みちおの詩を皇后美智子様が選・英訳された『どうぶつたち』や、美智子様のニューデリーでの講演録『橋をかける』などを出版する。2002 年～'06 年、国際児童図書評議会 (IBBY) の国際理事を務める。'10 年に岩手県へ移住し、下半身不随の長男と暮らしながら編集・講演・執筆活動を行う。移住翌年に東日本大震災に遭い、「3.11 絵本プロジェクトいわて」を立ち上げ、被災地の子もたちに絵本を届ける活動にあたる。著書に『人生に大切なことはすべて絵本から教わった 1・2』(現代企画室)、『ことばのともしび』(新教育出版) など多数。



- ところ／雁宿ホール講堂 (半田市福祉文化会館)
半田市雁宿町 1-22-1 (名鉄知多半田駅徒歩 5 分)
- 入場料／無 料
- 申込み／不 要 ※整理券もありません
- 問合せ／新美南吉顕彰会事務局
(新美南吉記念館 TEL 0569-26-4888)
- 主 催／新美南吉顕彰会・半田市教育委員会



11 月 21 日に異聖歌長女の中川やよひさん、12 月 3 日に作曲家の大神恩さんと、立て続けに新美南吉ゆかりの方が亡くなられました。やよひさんは、父聖歌の意思を継ぎ、新美南吉生誕百年事業を始め、これまで当館の活動に対し様々にご協力くださいました。大神さんは、昭和 51 年に半田青年会議所の委嘱で南吉の詩「貝殻」を作曲。平成 28 年の貝殻忌では半田を訪れ、参加者の前で自ら指揮をしてくださいました。お二人のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

計報

〈1 月の休館日〉
1 日 (火・祝) ~ 3 日 (木)
7 日 (月)、8 日 (火)
15 日 (火)、21 日 (月)
28 日 (月)
※ 14 日 (月) は祝日のため開館いたします。
〈2 月の休館日〉
4 日 (月)、12 日 (火)
13 日 (水)、18 日 (月)
25 日 (月)
※ 11 日 (月) は祝日のため開館いたします。

平成 30 年度半田市新美南吉読書感想画コンクール受賞作品

半田市教育委員会が開催している半田市新美南吉読書感想画コンクール（事務局 半田市立図書館）には、今年も多く応募がありました。このコンクールは市内の小中学生が南吉作品を読んだ感想を絵に描くというもので、審査に小中学校の教諭をはじめ、当館館長も加わっています。

今年は 2214 点の応募作の中から 113 点が選ばれました。ここでは半田市長賞、半田市教育委員会賞、新美南吉記念館賞、半田市立図書館賞、優秀賞（5 点）を受賞した 9 点の作品をご紹介します。

〈新美南吉記念館では 1 月 5 日（土）から 2 月 3 日（日）まで、佳作 77 点をのぞく受賞作品を展示します〉



●半田市長賞

「ありがとう」

〈ごんぎつね〉

ながしま みさき
長嶋 心咲（亀崎小学校 5 年）



●半田市教育委員会賞

「本当は優しい侍」

〈あめ玉〉

ほら なつき
原 菜月（亀崎小学校 4 年）



●新美南吉記念館賞

「皆の為に」

〈牛をつないだ椿の木〉

ひさだ ひなの
久田 妃奈乃（乙川中学校 3 年）



●半田市立図書館賞

「巳之助さんの決心」

〈おじいさんのランプ〉

ほんごう つばさ
本郷 翼（宮池小学校 3 年）

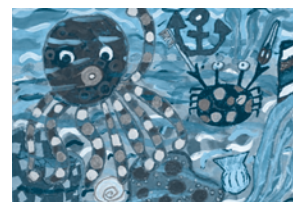


●優秀賞

「にぎやかなきのまつり」

〈木の祭〉

こいけ はるの
小池 陽乃（半田小学校 1 年）



●優秀賞

「かにのどこや」

〈かにのしょうばい〉

すぎうら ゆう
杉浦 邑（花園小学校 2 年）

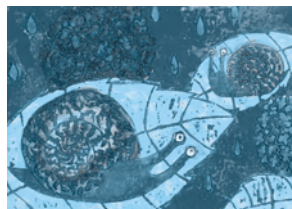


●優秀賞

「喜びで泣く盗人」

〈花のき村と盗人たち〉

ももた ななみ
百田 七海（板山小学校 6 年）



●優秀賞

「かなしみの中のでんでんむし」

〈でんでんむしのかなしみ〉

とりかえ りゅうき
取替 琉城（成岩中学校 1 年）



●優秀賞

「輝くときの中で」

〈くまのこ他一編 去年の木〉

たなか もえ
田中 萌詠（乙川中学校 2 年）